

N/GATA 新潟トランス株式会社

1. 会社の沿革・事業内容

新潟トランスは、(株)IHIの資本により、旧新潟鉄工所の鉄道車両部門と、富士重工業(現・(株)SUBARU)の鉄道車両部門を引き継ぐ形で、2003年2月に誕生しました。以来、気動車、鉄軌道用の保守用車や除雪車、陸上の除雪機械、LRV(Light Rail Vehicle: 低床式路面電車)やAPM(Automated People Mover: 新交通システム)を手がけ、多くの製品で高いシェアを誇ります。

2. 会社の概要

【商号】新潟トランス株式会社

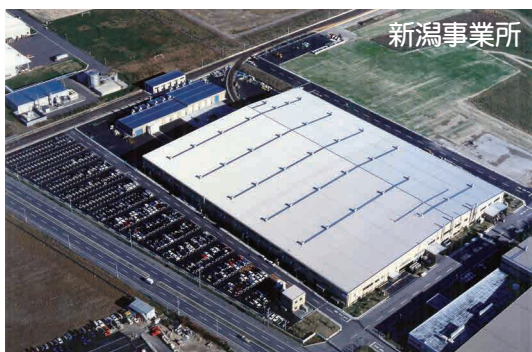
【本社】東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
新有楽町ビル8階

【代表者】代表取締役社長 尾藤 千秋

【主な事業内容】鉄道車両製造、除雪機械製造
ほか

【資本金】10億円

【従業員数】418人(2018年12月1日現在)



3. 事業紹介

新潟トランスは、多くの第三セクターや地方交通線の鉄道事業者と取引をいただいていることから、年間の製造車両台数こそ他社

より少なめではあるものの、お客様の要望に沿った多種類の鉄道車両を製造しています。そして、車両設備の導入から修繕、そして入れ替えに至るまで、お客様と息の長いお付き合いをさせていただいております。

当社で製造している製品は、下記に大別されます。

(1) 気動車・電車

JR、民鉄・第三セクター向けの気動車(ディーゼル動車)が、当社の主力製品です。全国各地のローカル線に納車している強みを生かし、厳しい気象環境下でも耐えうる車両を製造しています。お客様の路線独自のニーズやオリジナルの仕様にも、できる限りきめこまかく対応していることが特徴です。

(2) LRV(低床式路面電車)

1997年旧新潟鉄工時代に、国内メーカーでは初めてとなるLRVを、熊本市交通局殿に納入しました。100%低床化によって、バリアフリーを実現しました。現在では、部品の国産化率を高め、LRVを一貫生産できる体制を整えています。

(3) APM(新交通システム)

1981年開業の、日本初の新交通システム・大阪南港ポートタウン線『ニュートラム』以来、東京都、関西国際空港、台湾、香港等、国内外へ数多くの車両を出荷してきました。また、車両だけではなく、信号、通信、軌道などの総合システムとしても納品しています。

(4) 保守用車両

軌道上での『働く車』を製造しています。

一般の牽引用モーターから除雪用モーター及びトロリー線張替車両、新幹線用高速確認車までお客様ニーズに応えた特殊な車両を設計・製造しています。

(5) 陸上除雪機械

雪国新潟で製造している強みを生かし、40馬力から800馬力まで用途に合わせた様々な種類の車両を製作しています。一般ユーザー向けに30馬力級の小型除雪車のラインナップもあります。

4. 最近の話題

近年製造した鉄道車両の中から、特徴的な2車種をご紹介します。

(1) JR 西日本殿向け

35系4000代『SL やまぐち号』

『最新技術で快適な旧型客車を再現』をコンセプトに製造しました。技術革新によって使用できるようになった木材等がある一方、昔の部品を製作できる関係者が健在だったことで、荷棚、側窓錠、座席、タイル、洗面器等々の部品の復元が実現しました。最新技術と昔ながらの技術が融合することで完成したこの車両は、2018年のブルーリボン賞にも輝きました。



(2) 新幹線用除雪軌道モーターロータリー『MCR800』

北陸新幹線開業に向けて開発された車両です。北陸地区豪雪時の対応として、800馬力の高出力エンジンを搭載しています。側溝に貯められた雪を排雪するために、ロータリー除雪翼がレール面下まで下げられる構造となっています。

さらに、除雪作業を補助するため、データポでのガイダンス機構を搭載しています。



5. おわりに

近年、環境問題によるディーゼルエンジンの排ガス規制や、乗客に対する安全性、さらにはバリアフリーやユニバーサルデザインの採用など、『環境に優しい』『人に優しい』車両構造が求められています。

今後も、更なる技術革新を行いながらこれらの課題に応え、つくることの楽しさを胸に、明るく愛される提案をし続ける誠実な企業を目指し、歩んでまいります。



【新潟トランス株式会社 営業部】